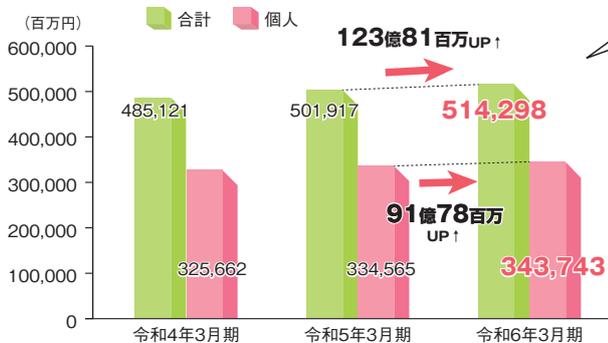




令和5年度の 業績ハイライト

預金・貸出金の状況

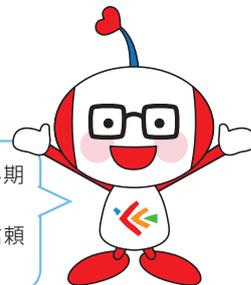
預金について



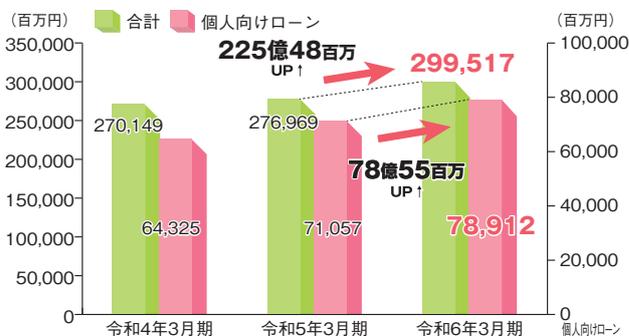
5,142億円
前年比+123億円

Good!

預金積金は総額、個人預金ともに14期連続してアップしているよ！
地域のお客さまから継続して高い信頼をいただいている証だね。



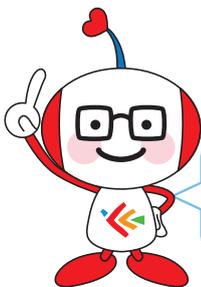
貸出金について



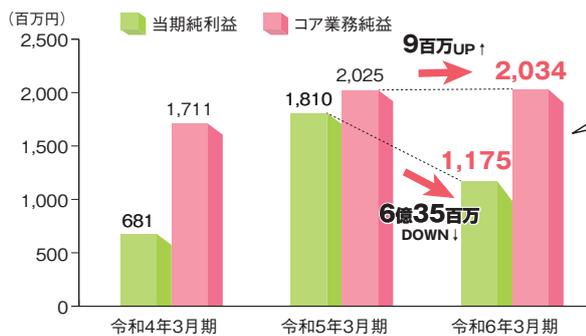
2,995億円
前年比+225億円

Good!

貸出金は、11期連続でアップしたよ！
個人のお客さまからのローン借入残高も大きく伸びているね。



収益の状況



20億円
前年比+9百万円

Good!

与費用の増加で当期純利益はダウンしたけど、コア業務純益は、融資推進による貸出金利息収入の増加や、有価証券利息の増加のお陰で、昨年よりアップしたよ。



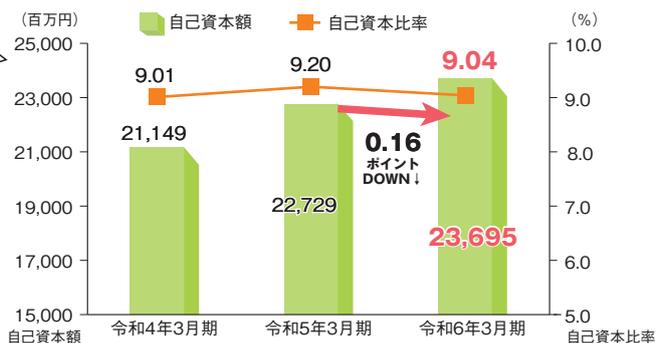
自己資本の状況



Good!

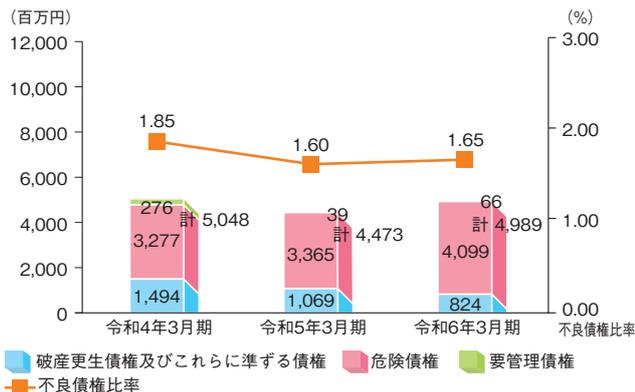
自己資本は、組合員の皆さまからの出資金や当期純利益などの積み上げの結果です。
けんしんの自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る水準を維持し、高い健全性を確保しているね！

9.04%
前年比▲0.16%



資産の健全性について

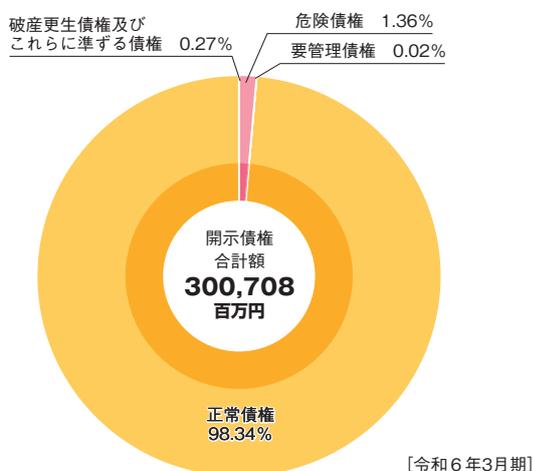
金融再生法上の不良債権比率と不良債権額の推移



お取引先の財務内容や経営状況等をもとに区分する資産の査定を行っており、この厳格な資産の自己査定の実施により、貸倒損失に備えた適正な引当金等を計上し、十分な保全を行っております。

なお、要管理債権(3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権)については、正常債権よりリスクは高く、その管理に注意を要するものですが、全てが回収不能債権となるものではなく、当組合による改善支援とお取引先の自助努力により、経営改善が図られるよう積極的な取り組みを行っております。

金融再生法上の開示債権構成比



用語解説

業務純益・コア業務純益

業務純益とは、金融機関が本来業務でどれだけの利益をあげたかを示す収益指標で、一般企業の「営業利益」に該当します。

コア業務純益とは、業務純益から一時的な変動要因を控除したもので、金融機関本来業務の収益力をより反映したものです。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} - \text{債券関係損益} + \text{一般貸倒引当金繰入}$$

自己資本比率

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産(リスク・アセット)に対する出資金や内部留保、引当金等の自己資本の占める割合を示す数値です。国内のみで業務を行う金融機関は4%以上の水準を維持することが求められております。



主要な経営指標の推移

主要な経営指標の5カ年推移は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	6,470	6,051	6,284	6,819	7,284
経常利益(損失)	349	573	728	1,842	1,546
当期純利益(損失)	241	386	681	1,810	1,175
預金積金残高	418,530	459,251	485,121	501,917	514,298
貸出金残高	224,565	251,755	270,149	276,969	299,517
有価証券残高	55,837	90,403	101,439	116,324	104,236
総資産額	488,741	531,078	543,104	537,453	538,943
純資産額	19,741	20,679	20,789	20,291	21,058
自己資本比率(単体)	9.15%	8.95%	9.01%	9.20%	9.04%
出資総額	13,092	13,491	13,938	14,091	13,969
出資総口数	130,927千口	134,915千口	139,384千口	140,917千口	139,695千口
出資に対する配当金	98	104	108	111	112
職員数	411人	413人	401人	412人	399人